

=====

【ソフト名】 SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】 SST G1 Ver1.1 日本語版

【登録名】 G1 Update 1.3.0.0.exe

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows2000 / XP / Vista 日本語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布は、SST G1 を所有している人には営利を伴わない形態であれば自由です。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

【ソフト紹介】

本ソフトウェアは、SST G1 日本語版用アップデートインストーラです。

【変更点】 <Ver1.3.0.0> 2008.07.25

- Avid OMF エクスポートオプションを追加しました。

タイムライン情報を含んだ OMF ファイルと、字幕の.bmp ファイルが出力されます。

Avid DS Nitris には対応しておりませんのでご注意ください。

- シャドウエッジに対応しました。

フォーマット設定のエッジの種類から「シャドウ」を選択できるようになりました。

エッジサイズの設定でシャドウのズレ幅を調整できます。

CANVAS s 1000HD CANVAS s 2000A をご使用になる場合は、各アプリケーションを 2.0.1.12 以上にアップデートして下さい。

Kanpake100 はこの機能に対応出来ておりませんのでご注意ください。

- Page Up/Down キーで字幕を移動した際に、字幕ウインドウで選択されている字幕が常に表示されるように修正しました。

- 編集 > 字幕移動 > 現在選択されている字幕のインフレームを基準に全字幕を移動 で、選択されている字幕以降しか移動されない不具合を修正しました。

- タイムライン上の末尾に字幕を追加後、キーによる再生を行うとビデオウインドウに字幕が表示され続ける不具合を修正しました。

- タイムコード基本設定 および フレーム落ち設定後、波形ウインドウが先頭（左端）にスクロールする不具合を修正しました。

- 字幕削除の確認メッセージにて、「はい」をデフォルトボタンに変更しました。
- 字幕ウインドウを右クリック > 空のデータをリストの最後に追加 した場合、追加した字幕の編集集中にフォーカスが無くなることのある不具合を修正しました。

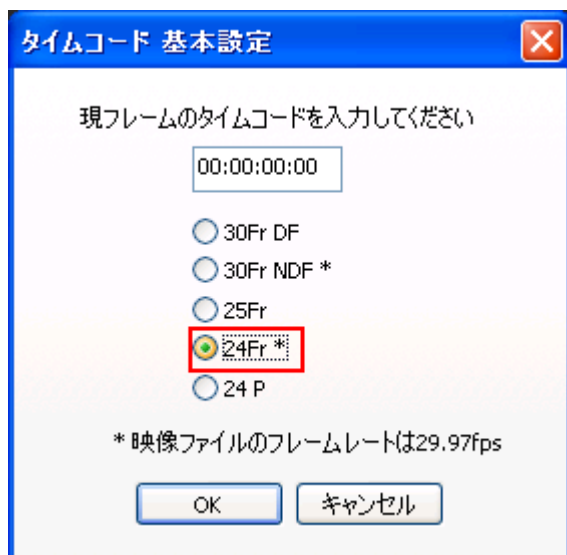
- 下ルビをベースライン内に収める機能を追加しました。

フォーマット設定 表示位置・行配置の「ルビをベースライン内に収める」にチェックを入れて下さい。2行字幕などで下ルビを使用した場合、下ルビも含めてベースライン内に収まる様、自動的に字幕位置が上がります。

CANVAS s 1000HD CANVAS s 2000A をご使用になる場合は、各アプリケーションを2.0.1.12以上にアップデートして下さい。

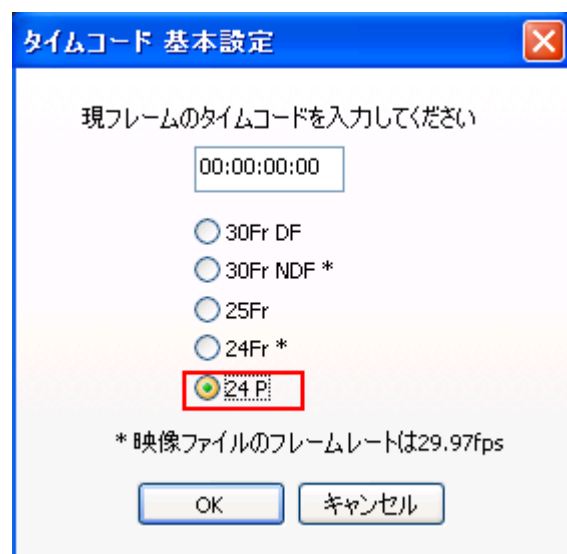
Kanpake100はこの機能に対応出来ておりませんのでご注意下さい。

- 24フレームの.wmv 映像に 対応しました。



30Frのワーク映像を使用して24Frのスポットティング作業を行う際の設定です。

VHS テープからエンコードした素材など、2-3プルダウンされた映像で24Frの作業を行う場合は全てこの設定を使用します。



2-3プルダウンされていない、24Frの.wmvファイルを使用してスポットティング作業を行う際の設定です。

- 自由位置を矢印キー操作で設定する際、固定位置からの最初の移動が正常に行われない不具合を修正しました。

- 24Fr で文字数制限（ガイドライン）が正常に算出されない不具合を修正しました。
- ファイル名の長い.wmv ファイルが開けない不具合を修正しました。

- CineCanvass DLP Cinema オプションに PNG 出力機能を追加しました。

- CineCanvass DLP Cinema オプションの XML 出力にて、長音・半角スペース・縦字幕の重複など表示の不具合を修正しました。

- Blu-ray Sonic のエクスポートで、Fade Out が XML に出力されない不具合を修正しました。

- Blu-ray Sonic のエクスポートで、「字幕部分を切り取ったイメージで出力する」を指定した際に XML ファイルを AutoCrop="true"で出力するよう修正しました。

- Canopus エクスポートに出力画角 1440×720 を追加しました。